

鳥取県立鳥取東高等学校同窓会
東雲会京阪神支部会報●第6号

連絡先 岡田俊一(山脈12回)
神戸市垂水区神和台2-2-9

▼懐かしい母校▼ 昭和11年ごろの校舎と桜。岩中健氏(柏葉11回)



'02/11/16に阪急グランドビル「グランド白楽天」で盛況に開催 ▲平成14年度・総会風景▲

二中時代の思い出

中原惣治郎(柏葉15回)

入試で“警”を“驚”と間違ってしまったが合格した。嬉しかった。二中は憧れの学校だったから。

毎朝七時前に乗車、鳥取駅から歩いて登校。帰りは駅までよく走ったものだった。朝の汽車は二輪目が男子で女学生は別の車両だった。

一学年二クラスで私はB組。135cmのちびだったから席は前の方。同じくらいのちびさんが10人位いてほつとした。後ろの席には清水君や越谷君がいて、160cmを越す彼等は同じ同級生とは思えなかった。それでもみんなすぐに仲良くなつたから、毎日の登校が楽しかった。担任の横山先生、隣りのA組は安引先生だった。

入学して間もなく漢和大辞典を買った。今までみたことのない分厚い本だ。それをめくって眺めていると、あつという間に時間がたつてしまう。今まで知らなかつた楽しみが出来て、ちょっぴり大人になつた気分だった。

一年生時の国語の授業で「ない」と「まい」のことばを並べて、本当にわかるのは、もう少し大きくなつてからだねといわれたことばが、今でも心に浮かぶ。やさしい笑顔の先生だった。奥田先生は間もなく軍隊に入れられ、その後戦死されたと聞く。

三年生の頃の香川先生も忘れられない。朝の寒稽古の時の足ばらい、相手が一回転してしまう見事なものだった。修身の授業で、吉川英治の宮本武蔵を読まれたことも強く印象に残る。沢庵和上のこと、お通のこと、学校の図書館では借りられなくて、冬休み神戸の伯母の寺で濃紺の八冊本の宮本武蔵を見つけて大晦日まで読みふけた。香川先生に本の話をよく聞き、尚文館をのぞくようになる。本に目を開いて下さった先生として、今も忘れられない。

図工の川上先生の黒板に書かれる円は、コンパスで描いてもこうは描けない程見事な円だった。安引先生、木下先生の板書は、ほれぼれする美しさだった。

三年生から学海寮(寄宿舎)に入った。舍監は体育の前田先生、毎日お世話になった。試験の時期には各教科の先生方がお出でにな

って質問に応えて下さる。ところが英語の野田文蔵先生は全く違う。まず舍の電燈をすべて消させて舍監室に生徒を集め、相撲をとらせる。先生は禪一つになって生徒と相撲、まず体をほぐせ、一夜漬の勉強なんてもってのほかということだった。ニックネームの文さんは、いつも酒の匂いのする人だったが、授業は生徒を引き付けてはなさなかった。前田忠雄先生の数学の解き方は理路整然。板書を見ていて、こちらの頭がよくなつていくように感じたものだった。一方鈴木先生は、数学の解答を板書させて、その説明をじっと聞いておられる方だった。先生の家は近くだったので、時々お邪魔して教えてもらい、おやつまでいたいた。上田剛先生のところも同じようにして伺つた。

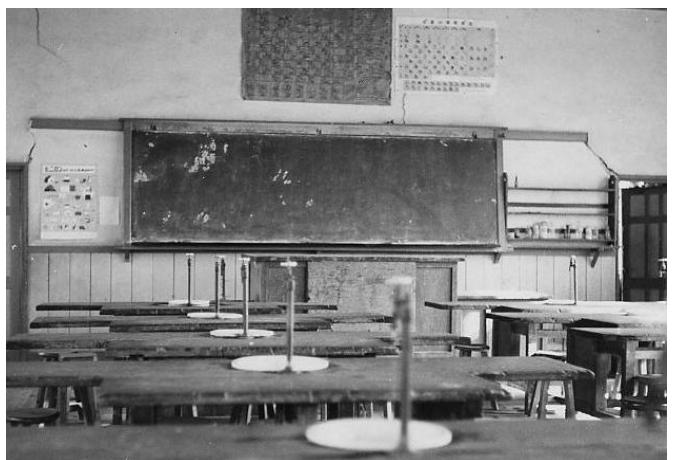
三年生までの担任の横山先生は飄飄とした風貌。いつも笑顔で生徒に接して下さった。四、五年の担任の永見先生は努力の人といわれた方、生徒に正対し、こつこつと話される姿が今も目に浮かぶ。

長本実治校長先生が急病と聞いて、全校生徒で近くの神社に御参りしたことがあった。半泣きで、走りながらのお参りだった。

先生方の思い出をたどってみて、わが母校は人間味豊かで、それぞれの専門分野ですぐれた実力を持っておられた先生方の集団であったと改めて思う。

友人のこと、学海寮での生活等、思い出すことは多い。その後戦時色が濃厚となる中で、学校をはなれて、大山原野の開墾をやつしたことなど忘れられないことも少なくない。

中学時代は私のその後の生活の原点、思い出すたびに胸の高鳴りを覚える。心より有難うございましたと申し上げてペンをおく。



▲二中、東高と使われた化学教室

ありがとう、東高！

横川ひとみ(山脈19回)

我家の三女は高校2年生。4番目の末子です。長女と二女は嫁ぎ、頼みの長男も家を出て一人暮らし。唯一残ったのが老後の楽しみとして生んだ三女。少しでも長く家にいてほしいばかりに家から通える中高大一貫校に入学させました。これならせめて大学までは家にいるという親の浅はかな考え方から。茶道部に入り、映画を好み、ハリーポッターやクイーンを愛し、イラストをインターネットで投稿し……と、青春を謳歌している毎日。

さて、自分が高校2年の頃を思いおこすと、学生生活と呼べるものの中で一番楽しい時期でした。

弱小チームながら練習に励んだバレーボール部。顧問の先生の家での合宿。その時に見た真っ青な日本海。今も忘れない。担任の先生の方針で、毎日一人ずつ順番にしたスピーチ。引っ込み思案の私はドキドキしながら、13人家族の話をしたことを覚えている。あこがれの先輩といっしょに登校、うれしかったなあ。授業をさぼって大丸の屋上でぼんやりしていることも好きだった。当然、成績はビリから数えた方が早かった。家に呼び出しの手紙が来たこともあった。入学式にも来なかつた母が、農作業において遠い鹿野からわざわざ娘のために学校まで来てくれたことは、今でも申し訳なく思っています。

東高祭のこと、リレーの第1走者になり、先生からバトンを受けたとたん転んでしまい、いい成績につながらなかった苦い思い出。クラスで工夫したシンボルを率いての市中行進は、今から思うと交通規制等の諸問題もあったろうによく実施できたなと思う。先生方の援助があったからにちがいない。学級別の球技大会では、テニス・バスケットに出場。「女子のバスケは豚の争いだ。」と男子に揶揄されながらもがんばったものです。体育関係の行事ともなると血が騒ぐ?のは、この頃からのような気がします。

あれから35年。今、私の仕事は教師。小さい頃から「引っ込み思案」と言われ続けてきた私からは想像もできないことです。退職を7年後に控えて、後何年持つかな?と弱気が見え隠れする今日この頃ですが、こんな私の心の支えはいつも「故郷鳥取」、そして「鳥取東高」でした。自分



▲シンボルの前で級友と一緒に納得いく思い出があれば少々つらくても生きていける。頑張ろうという気になってくる。

自分の心に、市中行進、体育大会、遠足、クラブ活動等、体験に基づいたことが思い出として強く残っていることから、今の子どもたちに「素晴らしい体験=いい思い出」を残すことが「生きる力」につながることを信じてあと少し頑張ります。ありがとう東高！栄えあれ、東高！

平成15年度総会に向けて

中原 修市 (当番幹事・山脈20回)

今年の2月8日の拡大幹事会で19期の先輩方から、今年の総会は20回期にお任せしますと、引継ぎと言われ、それまでは、漠然と15年は当番やなあと軽く考えていましたが、その日を境に大変なプレッシャーを感じられるようになりました。

しかし、幸いにも一緒に頑張っていただける同期生が何人もいました。3月、4月、6月と当番幹事会を重ね、会場の下見、ホテルとの打ち合わせ、各種案内文、当日のスケジュール他、各種資料等を準備して参りました。その結果、ようやく7月5日の拡大幹事会にこぎつけることが出来ました。当日は会長を始め各期幹事の方々にご検討頂き前に進めることができました。

11月15日の総会に向けて仕上げの準備がまだまだ続きますが、総会が盛会裏にまた有意義に開催されますよう頑張ってまいりますので、諸先輩、後輩の皆様のご参加をお願い申し上げます。

返信葉書(平成14年度)の 近況報告から

昨年いただいた会員諸兄姉の近況です。今年の総会に参加できない方は「短信欄」に是非とも近況をお書き下さい。1年遅れですが会員へ近況が伝わります。

* * *

年相応の体調ですが、懇親会は欠席いたします。大学を辞めて12年になりますが、趣味の水墨画で毎日を過ごしております。盛会で楽しい会になります様に。(柏葉10回/松尾幸人)◆幹事ご苦労さまで。昨年は休みましたが今年は昼間で梅田(阪急)ですのでぜひ出席したいと存じます。(柏葉10回/片岡一郎)◆相変わらず細々と「コンサルタント業」を継続しています。目下の仕事の大半は、業界団体のボランティア活動で繊維産業再生のため何らかのお役にたてばと考えています。年々何回か、世界の生産基地化した中国上海へ足を運んでいます。ご盛会を祈っています。(柏葉16回/井上重由)◆古希を過ぎ、喜寿に向かっていますが元気です。旧友とゴルフ、懇親会等で楽しんでいます。柏葉は18回の近畿会を毎年1回催していますが皆さん忙しかったり体調を崩したりで最近は4名位しか集まりません。それでも結構楽しくしております。諸兄姉によろしく。(柏葉18回/佐々尾昭)◆最近年のせいか通院。薬のお世話になっています。中国語学習の独学を生涯の楽しみにしております。健康に留意して頑張ります。(柏葉18回/山根昭一郎)◆総会のご案内ありがとうございました。会報表紙の鳥取二中時代の校舎と次貢昆虫採集写真の永見先生にしばし懐旧の情にひたり乍ら今年も元気でいることに感謝しています。総会の盛会を祈ります。(柏葉18回/渡邊久也)◆老年になり退職して毎日5時に起床して12chからはじまり(漢詩)樹木の剪定、パソコン、会合等忙しく動いています。日中友好30年、長江・黄河の平原を流砂漂砂の調査に行ってまいりました。(柏葉21回/田中和夫)◆



当日他行事を主催しているために出席できません。尚、私は関西鳥取県人会・大阪鳥取県人会の会長もいたし、また近畿鳥取西高同窓会の会長もしております多忙ですので今後東雲会の方はご遠慮させていただきたいと思います。悪しからずお許しください。(柏葉23回/高野泰明)◆年金暮らしにも慣れてきました。何とか家内と2人でどうにかやっています。私も一病息災とでもいいましょうか医者通りをしておりお薬との付き合いの毎日です。残念ながらアルコールドクターストップを申しつけられており欠席させていただきます。(山脈6回/藤原日出男)◆昨年は国内をわかつたW杯の決勝戦を観戦。ブラジル vs ドイツの死闘はさておき、横浜のスタジアムを飲み込んだ7万余の興奮と熱気には圧倒された。永らく忘れていた(?)“青春に血”が騒ぎ、若返った貴重な一刻でした。いつの日か関西でこんなイベントがあれば楽しいのですが、無理かなあ~。追伸・会報のレイアウト実によく出来ています。一枚でもカラー

が使えるといいのですが。

(山脈6回/平野行信)◆会報5号懐かしく拝見しました。

「古代シリーズ」を読みそんな元気な時代もあったのか、貴重な資料です。65歳になつても気分は変わらず娘が住むシカゴで時々過ごせる健康に感謝しています。幹事様のご多幸を祈念します。

(山脈6回/稻垣崇子)◆山六の総会も17日~18日に皆生温泉で開催され約100名近い出席の様です。4年に1度が2年毎になりました。逢う

機会が少なくなるという理

由でいつの間にかそんな年齢になったのでしょうか。まだまだと思っていますが。そういうわけで今年も欠席で相済みません。お互い会合を楽しみましょう。(山脈6回/久永浩)◆今夏も元気にベトナム(ホチミン~フェ)のサイクリングに行ってきました。昨年と今年でベトナム南北縦断(マダラ)完了です。お世話ありがとうございます。(山脈7回/田中享之)◆いろいろお世話になりありがとうございました。平成14年9月から大阪と離れ余生を田舎の鳥取で送ることにし転居しました。(山脈7回/広岡豊)◆9月2日~9日、山脈7回有志でカナダ旅行へ行ってきました。このグループでの海外旅行は5回目となります。カナダロッキー、ナイアガラ滝、ケベック市内、モントリオール旧市街が印象に残っております。それ

とアメリカ/カナダの出入国が3回もあり警備の厳しいのには閉口しました。(山脈7回/竹内正志)
◆昨年まで公立の小学校に定年退職後、引き続いて嘱託として3年間勤めておりました。やっとフリーになって人生の後半をのんびりと気儘に過ごして居ります。(山脈7回/久保薙八重子)
◆所要のために欠席させていただきます。最近アオリイカ釣りに凝っています。週一回出かけて其の夜は徹マンならぬ徹釣となる事も度々。敵もさるものなかなか釣れません。活魚屋の水槽に竿を出した方が早いかも。孫に『爺ちゃんしっかり釣りや!』とハッパをかけられています。(山脈9回/大呂輝夫)
◆2度目の定年後、今だリストラになることなく、嘱託技師としてガンバッテいます。(山脈10回/西村律男)
◆昨年3月末退職して以来ずっと90才になる母の介護をしています。いつか自由な時間が持てるようになつたら、同窓会に出席したいと思っています。(山脈10回/宇野田祥子)
◆定年で自由時間が増えて趣味を楽しんでいます。孫たちの学校帰りの留守番をしたりして、少しばは家族の役にもなっています。東高での部活、合唱を今でも貫いています。(山脈10回/吉川紀美代)
◆今夏、永年の会社生活を終え自由の身。ユネスコ世界遺産をキーワードにネパール、アフリカ等を訪ねる計画をたてています。山脈同期に岡本氏と初夏のハルピン・長春を歩き建国70年の旧満州国の遺跡を訪れました。(山脈10回/西尾康弘)
◆地域まるごと健康づくりをめざす医療生協運動に協力しながら、自らの老化防止をめざしてプールに通いながら。。。それなりに忙しい日々を過ごしております。(山脈11回/筒井節子)
◆還暦を過ぎ人生のまとめの時期を迎えました。H15年8月オープンの新病院のシステム作りを終え早く鳥取へ帰りたい。鳥取の剣道界に少しでも役立ちたいと思っています。(山脈11回/湯村正仁)
◆土曜日は子供囲碁教室(神戸市)で80名を午前と午後に分かれて教えていますのでどうしても時間がとれません。(山脈11回/福岡晴久)
◆還暦も去りて去らぬは雑念かこの世の楽土何処なる哉(山脈12回/山根豊美)
◆色々お世話をして頂きありがとうございます。私も誕生日を迎えると還暦です。おかげで元気で過ごしています。ボランティア、旅行にと毎日忙しくしています。(山脈12回/池田峯代)
この夏、滋賀県と姉妹都市のミシガン州に約100人が訪れ、各家庭に5日間ホームステイさせていただき、大変貴重な体験をさせていただきました。(山脈14回/石井奈美)
◆子供たちもすっかり大きくなり老夫婦二人だけの生活を送っています。年老いた両親が鳥取にいる為遠くにいて心配ばかりしています。ボケ防止の為に頭の運動をしなくてはと考えているこの

頃です。(山脈15回/守田綾子)
◆当番幹事さん御苦労様です。当日は都合が悪く欠席です。すいません。仕事、趣味、孫の世話を一週間が10日欲しい位忙しく楽しい日々を過ごしています。体育館の写真懐かしく拝見しました。(山脈15回/金田玲子)
◆学校が週5日制になり、音楽・図工・体育・動植物に関する教材が減り、これで本当に次世代を任せられる人間が育っていくのだろうかと、いささか不安を覚えながら、日々の学習を取り組んでいます。人を育てるのが一番むずかしい。でも一番大切です。(山脈17回/深田庸師子)
◆本年3月より帰鳥しております。やはり田舎での生活は楽しいです。あらためて山陰に人情の厚さに感謝して毎日をのんびりと過ごしております。(山脈17回/菅知子)
◆今までずっと普通のおばさんという思いもありまして随分迷ったのですが、井上さんのお名前を拝見しましてやっぱり出席しようと勇気を出しました。来週退職して、180度生活を変えるつもりですので、これを機会に懐かしい鳥取県人の声をたっぷり聞いて、みなさんのパワーをいただけたらいいなあと想っております。家庭菜園もやりたいことの一つなんです。(山脈19回/殿井明子)
◆ご案内頂きましたが、現在大学は大学改革や国立大学法人化問題で忙しくしております。このため休日出勤で対応しているところであります。京阪神東雲会の益々のご発展をお祈り申し上げます。(山脈19回/河本俊一郎)
◆原色ドライフラワーの師範を取りがんばっています。(山脈20回/藏所ひろ子)
◆この6月に第2子が誕生し子育て真最中です。新聞よみました。東高の歴史にびっくりしました。記載者の年令が卒業年度が書いてあるとお年等推測できよみ易いのではないかと思いました(山脈36回/嵯峨陽子)

会費(寄付)ご協力のお願い

本年度も京阪神東雲会運営費として会員の皆様に年次会費(寄付)一口1,000円の出捐をお願いしております。総会に参加される方からは、当日参加費用に含めて会費を頂きます。昨年は当日参加の方々を含めて354名の方々からご協力を得ました。厚く御礼申し上げます。因みに本年7月5日現在の会費残高が707,275円となっております。会費(寄付)振込先は次の通りです。

(会長 上林武夫・会計幹事 中原修市)

郵便振込「口座番号 00940-2-133540

加入者名 京阪神東雲会」

会計報告

平成14年度の会計報告は下記の通りです。

平成14年度 総会関係会計 円

費目	収入	支出	残高
前年度繰越金	89,836		
総会会費	945,000		
雑収入	23,500		
総会費		812,500	
会議費		67,373	
通信費		38,811	
その他		60,068	
会計	1,058,336	978,752	79,584

寄付金会計 円

費目	収入	支出	残高
前年度繰越金	553,058		
14年度寄付金収入	377,500		
会報編集通信費		10,000	
総会案内文作成送料		194,663	
その他		18,620	
合計	930,558	223,283	707,275

ホームページで交流を 『京阪神東雲の窓』

同窓生の交流を目的に、ホームページを作成しています。Urlは次の通りです。

http://www.asahi-net.or.jp/~hf3s-okd/higashi/index.htm

会報の感想や同窓会情報など、会員の皆さんのが楽な情報交換の場としてご利用下さい。

運営者 岡田(MAIL sdi00397@nifty.ne.jp)

更新日 2003/07/07 since 2001/08/04

京阪神東雲の窓

●鳥取県立鳥取東高等学校『京阪神東雲会』連絡ボード●

お知らせ 交流ボード 鳥取再発見 同窓会画像 リンク +NEW



先日帰省者、母校を訪れました。一週間前に文化祭などで生徒・職員が学校に来ており平日と同じような活気がありました。画像は正面校舎に張ってある全国大会出場の横断幕です。文武両道で活躍をしています。(03/07/05撮影)

感想などEメールへどうぞ Mail

新着情報

●設置者:『京阪神東雲会』会報発行係●

古代東高

思い出シリーズ

東高の理科あれこれ

第六回

倉恒 貞夫

(本部同窓会副会長・山脈3回)

昭和24年東高発足当時の理科教室は、玄関から見て三ノ字形の校舎配置の中央の二ノ字の位置(中校舎)一階左はしが生物教室で、その右隣が生物準備室。三ノ字の一番上の位置の校舎(南側校舎)の右側が、平屋建てで、右はしが化学実験室(第二回にはプリントミスで準備室となっていました)、次で理科準備室、物理教室(階段教室)でした。

昭和31年はまだ、この教室でしたが、物理、化学の理科教室が作られ、昭和32年6月5日に竣工記念行事が行われました。

三ノ字形の校舎の上(南側)にもう一本線を引くように新理科教室ができました。左端より、化学実験室、同準備室、化学講義室(予算の関係とかいうことで、ちょっと狭い感じでしたが)、物理実験室、その奥に、同準備室。

この日は、記念行事として、①研究授業、②视察懇談会、③小宴が学校とPTA主催で行われました。

研究授業は、物理3年A,D組 横川教諭山脈9回の理系のクラスの人が生徒でした。グループ別物理実験14項目。

化学1年E組 藤井教諭(化学実験室)山脈11回の生徒で、実験室のテーブル表には名前と出身中学が付して書いてあり、生徒にいろいろ聞いてやって下さいと案内していました。「溶解度の測定」実験。

化学1年C組倉恒講師(化学講義室)「酸素にはどんな性質があるか」講義と供覧実験。

東高が発足したときより理科の先生としてはこの三先生。物理 横川芳彦先生(24~40)、化学 藤井睦雄先生(24~34)、生物 生駒義篤先生(24~40)に教えてもらっていました。加藤(下山)艶子先生、井口秀治先生、大家吉克先生もおられましたが。

昭和31年になると、それまで200人だった新入生が、300人になるので、理科の先生の数も増えて来ますが。この年までは、東高4クラスが6

クラスに増えてき、他校に比べて生徒数は少ないが、進学率は一番よいと言っていたのが、少しうるんできはじめます。

卒業者数が、山脈9回までは200人だったものが、山脈10回～16回 300人からだんだん375人となり、17回(昭和41年3月卒、38年入学)は600人以上 12クラスとなり、1クラスの人数も 50人以上となって来ました。

現在は400人、10クラスとなって来ています。

* * *

研究授業が終わってから、視察懇談会が行われ、新米講師の小生は参加の先生方からいろいろ指導を受け、ギュウギュウやられたことを思い出しました。

それから講堂で小宴。ゴザを敷いて、折詰と二合瓶で祝賀会が行われました。

いつのころからか学校で酒をのむことができなくなりましたが、当時は卒業式のあとなどでは、体育館にゴザを敷いて、祝宴—謝恩会一があり、3年の担任をした時など、保護者から酒をもらって大変でした。以前は、職員会議も、熱が入ると6時、7時となり出前を取っての食事が9時

10時になることもあったり、卒業認定の職員会議が終わると、3年の担任団が、ストーブでするめを焼いて、全職員にお礼の一杯を出したり、職員会議がおおもめにもめて、ケンカ様になったあとなど、職員室で互いに一杯飲むなどのこともあります。

皆がクルマで通勤したので禁止になったのでしょうか。

東高の化学の授業—特に実験は今考えても大変なものでした。

藤井先生に昭和28年度(1953)化学レポート(第1学年の巻)実験項目が37まであります。これは生徒が



▲取り壊し前の理科教室(S32)
実験し、その結果をまとめて提出するもので、各自に渡すプリントです。

同じく、同じ年の(第2学年の巻)は実験ナンバー28から始まって59まで。

1952年の化学実験(レポート用紙綴)では実験1から、実験95まで、さらに実験上の注意が、10頁にわたってビッシリとつけ加えられています。

化学の「大日本図書」の教科書に載っている実験に加えて適宜実験をされたためです。

実験は4～5人で班に分れ、各テーブルで行います。実験箱(各種実験器具が入っている)を使い、不足のものは教卓上又は、準備室から持つて来る。基本的な器具の使い方などは、学年の始めに2～3時間かけて指導されました。

実験準備のために4～5人が当番で、前日の放課後溶液作成、試薬、器具そろえなど行い、実験が終わった日の放課後、又後始末—器具を洗ったり、棚に返したりしました。

レポートの次の化学の時間に提出。先生の方もこのレポートを点検するのが大変な仕事でした。うかうかすると、点検しないレポートが溜まって来て、とてもとても大変な仕事でした。

内容はもちろんですが、計算や、まちがった字を直し、そしてレポートの採点をして返却するのです。

大学受験の浪人生が、勉強を兼ねてアルバイト的に実験の手伝いもしていました。

実験用の白衣を全生徒に買わせたことありました。当時の東高の化学は日本の化学教育の先端を行くものであったのではないでしょうか。授



▲新理科室で藤井・岸本先生(S32.4)

業も2時間続きで行っていました。実験をやる時間が充分に取れるためです。

藤井先生は、昭和34年9月鳥取商業高校の教頭として転出されました。当時としては異例の若い教頭でした。42才でした。しかし元来御身体が丈夫でなく、教頭の激務のためか、更に身体が悪くなられ、筋萎縮症ということで38年ごろは入院—8月終りに亡くなられました。山脈13回ぐらいまでの卒業生までは先生にいろいろ指導していただいたのではないでしょうか。

横川先生も昭和40年4月まで、本校に勤務されていましたので、山脈17、18回ぐらいまでご指導

いただいたのではないでしょうか。このごろ足腰の調子が少しお悪いということで、街を歩かれる時、杖について、ぼちぼち歩いておられる様で、奥様にお聞きすると、大好きだったお酒もキチンと止められたということです。

生駒先生も昭和40年に転出しておられます。大変お元気で、今も地衣類の研究をしておられ、昨年は「2000 outstanding Scientists of the 21st century」に登録をされ、今年平成15年1月26日「日本地衣学文献集」「日本地衣学詳史」「日本産地衣類目録」※の出版記念と、登録されたことの祝賀会、講演会を行いました。足が少し不自由の様ですが御元気です。

現在の理科室は、特別室棟として昭和51年3月31日に竣工したもので、物・化・生の教室が入り、他に音・美・書などの教室も入っております。【文中の写真は筆者提供】

※生駒先生より、これらの出版物、その他沢山いただきました。私がもっていても猫に小判です。有効な生かし方があればお知らせください。

●編集後記●

同窓会館は、建物は正面道路の東側に出来上がり、内部の資料なども整備されつつあります。母校の学習環境は木造時代と比べ格段に整備されています。母校の発展のために今後もバックアップができる同窓会活動を目指したいと思います。関西弁を忘れて鳥取弁が存分に話せる総会の季節が今年も巡ってきました。11月15日(土)13:30~16:00「東洋ホテル」へ集いましょう。

題字は上田先輩(柏11回)、カットは山崎氏(山12回)によります。(お)

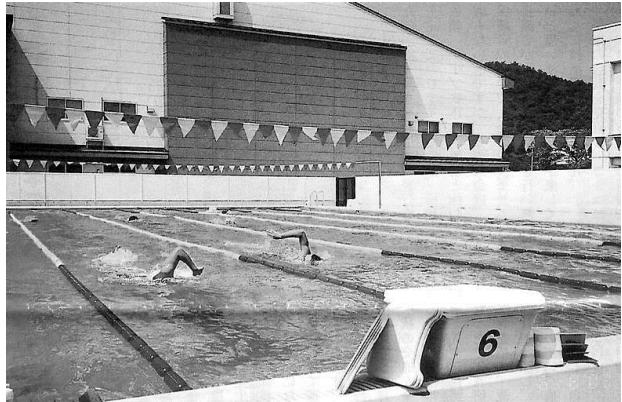


▲化学の準備室で実験の準備と授業をする筆者

母校短信・新プール完成

平成14年9月から工事を初め、平成15年5月に新プール(25m×⑧コース)が完成。

【鳥東通信117号から】



関西地区同窓会の情報交換会

7/31に大阪第三ビルにある鳥取県大阪事務所会議室で鳥取県内高校の京阪神同窓会の情報交換会が開催されました。本校以外では、鳥取西、八頭、倉吉西、由良育英、米子東、米子西、米子南、米子工業、米子北から会長や事務局担当者が集まりました。どことも、高齢化、世代の断層、連絡通信費の増大など共通する悩みが話題でした。本校の寄付金制度や広報紙の発行などが注目されました。【会議風景】

